

# 気分はパリジェンヌ

慣れない言葉、発音に戸惑い…

## 仏語で合唱に挑戦

市民や弘大生

弘前

弘前大学フランス語ホームページを運営するグループ「弘前×フランス」プロジェクト（代表・熊野真規子准教授）は21日、弘前市まちなか情報センターで、フランスの代表曲を歌うイベントを開いた。市民、学生ら約20人が参加し、フランス語で織りなすハーモニーを楽しんだ。（福崎純哉）



歌詞を見ながらフランスの歌を合唱する参加者たち

熊野代表や、フランス・ラフィットさん 受けながら、参加者はスからの留学生カリー（28）らの手ほどきを「フレール・ジャック」や「あなたのとりに」など、フランスの代表曲を合唱した。初めは慣れない単語や発音に戸惑いながらも、少しずつコツをつかんでいった。参加した会社員女性（26）は「仕事でフランスに行くことがあるので、とても良い勉強になった」と充実した表情を見せていた。2年前に来日したカリーさんは「みんな上手でびっくり。フランスに興味を持ってくれてうれしかった」と笑顔。熊野代表は「こういう活動をきっかけにフランス文化に親し

んでもらえれば」と期待していた。同プロジェクトは本年度から月1回程度、同市の街中でフランス

に関するイベントを「フェット開催。次回は7月12日・ド・ラ・ミュージックに、同センターと蓬萊ク」の弘前版を開く予定。広場で、フランスの音定。